

まちのニュース・お知らせ

▼347万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億6575万3千円とするもの

議案第40号 ■平成14年度油谷町水道事業会計補正予算(第3号)について ▼資本的支出において建設改良費405万円を増額するもの

意見書案第1号 ■「地方自治の確立」と「自主的合併方針の堅持」を求める意見書の提出について

一般質問

本定例議会の一般質問通告を掲載します。

津室 喜久 議員

【油谷町健康推進総合センター(仮称)建設について】

保健福祉センターを併用した、年寄りから青少年にいたるまでの健康づくり、体力づくり、ふれあい場所づくりの施設を建設し、町民全員が有意義に利用できる設備を整えたセンターづくりが必要と思ふがどうか。

【油谷町小・中学校及び保育所の統廃合と廃校、廃所後の再利用について】

少子高齢化社会に対応した、油谷町小・中学校及び保育所の統廃合と廃校、廃所後

の施設の再利用について。又、住民理解への協議の取り組みについて問う。

最終的に、統廃合は何年を予定しているのか。

【税金の滞納処理について】

各自治体ともこの件については大変苦慮しているところである。一次産業の低迷に比例して経済全般の景気が低下している現状で税の収納は増々厳しさが追求される。

国の政策も各自治体に対する行政支援が年々縮小されてくる現状で、町の自主財源に対する滞納額の割合は目を見張るばかりである。

今後、この税に対する収納への取組み、処理方策はいかにお考えか。

上野 靖児 議員

【市町村合併と油谷町における生活環境整備について】

市町村合併については法定協が設置され合併について話し合いが続けられているが、油谷町は生活環境の整備が他の1市2町に比べて非常に遅れている。

町長は各種整備の遅れについて本町としては各々の事業を、何年度に実施すると計画を示してきたが、合併したらその計画はどのようになるのか。

又、どのようにしていくのか。
1. ケーブルテレビ

2. 下水道事業

3. 保健・福祉センター

【介護保険について】

1. 近隣の町では利用者負担軽減措置がとられているが本町においても町民税非課税世帯に対しては居宅サービス50%助成をしてはどうか。
2. 訪問介護については、業

漁り火の映える 棚田のオーナー募集

棚田のオーナー募集

油谷町棚田活性化協議会では、今年度も棚田オーナーを募集します。

棚田オーナー ■6月の田植えと10月の稲刈り作業を行います。作業日時は、ほ場管理農家と借り主であるオーナーで話し合って決めます。
会費 ■100m²当たり 3万円

ほ場管理 ■田植えと稲刈りは地元農家の指導で行います。日頃の水管理等の農作業は地元農家で行います。栽培は、なるべく化学肥料、化学農薬は使わない有機的、減農薬栽培をします。なお、田植えと稲刈り以外の農作業をご希望のオーナーは、ほ場管理農家にご連絡願います。

者(社会福祉協議会)まかせにするのではなく、利用者との契約が正しく履行されているか、指導及び監督について問う。

【福祉バスについて】

高齢化が進むなかで伊上地区等、交通手段のない地区では病院への通院に困難をきたしている。

収穫物 ■契約したほ場で収穫したお米(品種は良食味米のヒノヒカリです)は、精米して、宅配便で届けます。通常、100m²当たり45kg程度穫れます。自然災害等により、お米が収穫できなかった場合や少なかつた場合は、100m²当たり30kgを補償します。

農産品等 ■収穫時には地元農産品(野菜・味噌など)のおみやげがあります。
その他 ■月に一度油谷町の広報を、8月には田んぼの状況や稲の生育などをお知らせする棚田通信を届けます。田んぼからは、夕日で黄金色に染まった油谷湾や、眼下に広がる日本海が望めます。また夜は漁り火の映える棚田の景観

現行のブルーライン交通によるバス運行の県からの補助金は来年9月で打ち切られる。児童の通学等と合わせて町内全域に福祉バスの巡回を同一料金でやる必要があるが、取り組む考えはないのか。

が堪能できます。

募集件数 ■10組(家族グループ)程度 区画数:10区画(1区画約100m²)程度
募集期限 ■4月25日(金)。

ただし、応募者多数の場合は、選考します。選考結果については5月2日(金)までお知らせします。

申込・問合せ先 ■役場農林課農務係内 油谷町棚田活性化協議会 ☎32-1111

山口県議会議員一般選挙

告示 4月4日(金)

投票日 4月13日(日)

午前7時~午後6時

油谷町選挙管理委員会
(☎32-1111)